

## 私どもの使命について

チッソ旭肥料株式会社

常務取締役・役技術開発部長

伊 藤 和 夫

謹んで新春のご祝詞を申し述べさせていただきます。

農業をとりまく環境が激動する中で迎えた今年、われわれ関係者にとって、誠にきびしい年であると考えられます。

そもそも農業は、人類の食糧供給という大使命をもって、その創生以来、人類と共にあり、特に、わが国においては、“農は大本なり”と云われて来たものでありますが、社会環境、経済構造の変化につれて、近年ややそのおもむきを異にしてきた感もありますが、本来の大使命に変わりある筈はなく、しかも、天恵の太陽エネルギーを最大に利用する生産業である農業は、その手段、方法、形態において、近代化することはあっても、重要性と必要性においては、不変のものであるべきだと考えます。

私どもは、時代に応じた科学する農業に、少しでも役立ち得るよう、新形態、新効果を目的とした新肥料をはじめ、新しい農業資材の開発に努力を続ける所存であります。

なにとぞ今年も、読者諸賢のご指導とご協力を賜りたいと存じます。

ここに、昭和46年の新春を迎え、本誌特集号を発刊するに当り、いささか蕪辭をつらねご挨拶と致します。